

(株)フクナガエンジニアリングとお客様をつなぐコミュニケーション誌

FECO NEWS

フェコニュース

2012. SPRING vol.41

里山の風景 vol.1

日本には四季に加えて、もう二つの季節があると言われています。それは春と夏の間の梅雨、そして夏と秋の間の野分。この梅雨はアジアモンスーンの特徴のひとつで、農の風景には欠かせないものです。





震災復興にむけて 「震災がれきの処理、リサイクル、その今」

平成23年3月11日 未曾有の大震災が日本を襲いました。その震災から1年以上が経ち、一步一步復興へ向けて進んでいる東北。その東北の災害廃棄物(がれき)のリサイクルの現状を今回は取り上げて、みなさんと一緒に震災復興について、震災がれき処理を中心に考えたいと思います。



「全国木材資源リサイクル協会連合会」 理事長インタビュー

今回は、長年木材資源のリサイクルに取り組まれている「NPO法人全国木材資源リサイクル協会連合会」理事長である鈴木隆様にお話をうかがいました。



「震災後、復興にむけて取り組んでおられることをお聞かせください。」



平成23年3月11日に発生した「東日本大震災」では、たくさんの方の震災廃木材が発生しました。

私たち連合会は、4月にワーキンググループを立ち上げ塩害対策等を盛り込んだ処理方針を策定し、国へ提示しました。これは、国として「災害廃棄物処理のマスタープラン」の一部として採用されています。

その後、被災されました自治体様を中心に、方針の説明を行っておりますが、みなさんご存知のように放射能汚染が問題化したことから廃木材の処理は一時停滞してしまいました。現在は、放射能に対する基準を網羅した指針を公表し、徐々にではありますが、地域内処理はもとよ

り広域処理に向けても活動を強化している最中です。



「現在、抱えておられる課題、問題点についてお聞かせください。」



そもそも木材資源リサイクルは排出と利用のバランスにより成り立っておりますが、共に季節変動が大きく、苦慮している場面が見受けられます。

ましてや、今回の未曾有の大震災により、十数年分の木材資源が一気に排出された状況は過去においても例を見ない状況となっております。今後、木材資源リサイクル製品をもっと使ってもらったりと新しい用途を開発することが大きな課題です。

一方、大量排出が原因となり、品質規格を満たさないものが一部流通する等、品質面においても問題がところどころで生じています。

また、新たに生じた放射能に対する風評被害も含め、国の指導のもと厳格なルールづくりが必要とも感じております。



「みなさんに知っていただきたいことはありますか？」



原発問題に端を発し、エネルギーに対する様々な舵取りが必要となつている時期であります。今年7月にスタートする「再生可能エネルギー全量買取制度」においても木材資源はそのツールの一つとなっており、更なる活用注目されていきます。

ついでに、各個人、各企業のみならず、割り箸、木片一つでも原料資源はもとよりエネルギー資源として有効活用が可能なることを知って頂き、適正な流通ルートにのせていくことが大事だと考えています。



「ありがとうございます。」

木材資源リサイクルという、難しく聞こえますが、割り箸などの身近にある木材が資源エネルギーになるんですね。再生できるものは再生できる持続可能な社会をめざしたいですね。

連合会紹介

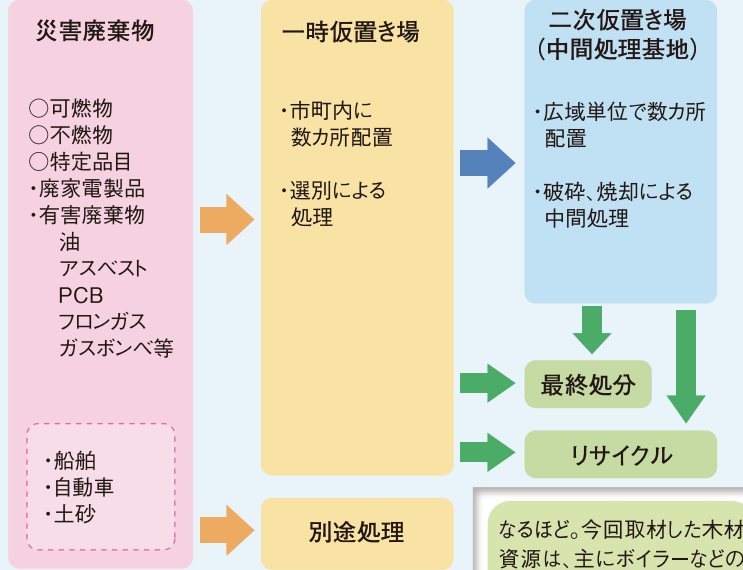
NPO法人全国木材資源リサイクル協会連合会

1985年から活動を開始し、北海道から九州までの約200社が集い、国内に流通する木材資源(特に廃棄物由来の木くず)のおよそ70%を取り扱うメーカー及びユーザーで構成する組織。

主な活動内容としては木材資源リサイクルの需給バランスの調整における「品質規格の策定と広報」、「国との意見交換」、「国への提言」及び「取り巻く環境の情報収集、広報活動」等。



震災がれきはこんな処理ルートをとります。



災害廃棄物の基本的な処理フロー
 ※宮城県災害廃棄物処理実行計画 平成23年7月より

なるほど。今回取材した木材資源は、主にボイラーなどの燃料に再生されるんですね。このような処理過程でも、フクナガの商品が役立てれば良いと思います。

たとえば

震災がれきの処理において、環境省が打ち出している考え方は、「再生利用が可能なものは、極力再生利用する」というもの。各素材別への分別・仕分をされたのちに、リサイクルに対するガイドラインが示されています。

木くず・木質ボードやボイラー燃料、発電等への再利用が期待される。金属くず・再生利用を基本とし、再生利用を容易にするため、受け入れ先で想定する利用用途に応じ可能な範囲で、鉄と鉄以外のもの（銅など）を区別する。コンクリートくず・コンクリート屑については、アスファルト、コンクリート、石寸などに分別して、復興資材等として被災地で活用することが有効。……などなど
 (環境省「東日本大震災に係る災害廃棄物の処理指針」(マスタープラン)平成23年5月16日より抜粋)

フクナガエンジニアリングのお役立ち

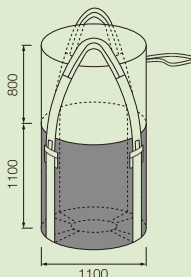
震災がれき処理のさまざまな場面で、特殊なフレコンバッグがお役に立ちます。

放射性物質・セシウムを含む焼却灰は最終処分方法が決まるまで、飛散防止措置をとった上で、一時保管されています。飛散防止のために、フレコンバッグが使用されています。

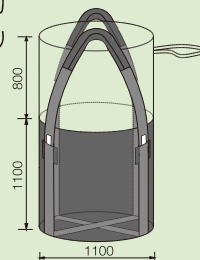


お役に立つフクナガの製品

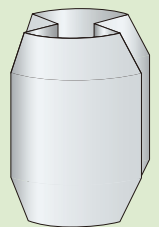
除染作業が今後本格化してくる見込みのなか、長期保管を見据え、紫外線による劣化を防止する耐光性フレコン「1100KR-UV3」。



洗浄除染処理後に発生する汚泥を水切りするための水切りタイプのフレコン「1100KR-BW」。



保管の際に、吸湿による内容物の変質・劣化、または匂い漏れなどを防ぐために、気密性を高めるためにフレコンへセットする「アルミ内袋」。※耐候性フレコンや、その他のフレコンバッグに使用していただけます。



フクナガで働くスタッフをクローズアップ!
フクナガの愉快的仲間たち
 今月号は4月より入社しました、新入社員をご紹介します。

タイヤ事業部

柳ヶ瀬 雅俊 (やながせ まさとし)

●自分の性格をひとことで言うとは?

何でもポジティブに生きてます。

●現在のマイブームは?

事業部の先輩たちと仕事終わりにご飯に行くことです。

●仕事にかける意気込みを一言!

これから何でも吸収していきます。



先輩社員からの一言

タイヤ事業部

高橋 創太 (たかはし そうた)

「そのやる気と筋肉で、様々なことにチャレンジして下さい。頼りにしてます!」



NEW
**プルタブ・アルミ缶を
 集めて車イスを贈ろう!**

今年度からは、フクナガエンジニアリングの関連法人で行っている「プルタブ・アルミ缶回収運動」について毎月関連情報をお伝えしていきます。

先日、アルミ缶、プルタブ回収運動を実際にされている近畿大学付属中学校の皆様が、弊社に見学に来られました。

生徒会の新聞にも取り上げ、自分たちの活動の報告をされていて、ということで、生徒の皆様が一人一人質問を考えてこられて、熱心に話を聞いていただきました。これからもこういった輪が広がっていくといいですね。



ほっこりフクナガ写真館 NEW

今年度から、投稿コーナーをリニューアル!

毎号のテーマに合わせて、みなさんのとっておきの1枚を募集いたします。

ご応募いただいた先着20名様にクオカード500円分をプレゼント!!!

どしどしご応募ください! 今回のテーマは「絆」です。みなさんの周りの絆を感じる写真をコメントと共に送ってください。

写真は、データをメールでお送りください。

たくさんのご応募お待ちしております



応募先メールアドレス

feconews@ecosoft.co.jp

締め切り: 2012年7月20日

今回のテーマは「絆」

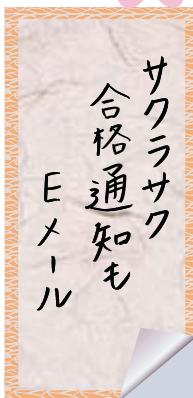


エコ川柳

長年皆様に愛されていたエコ川柳コーナーも今号で最後となります。これまでご愛顧いただき、ありがとうございました。次号からは写真投稿コーナーへご応募をお待ちしています。

「最近の学生さんは、パソコンの前でドキドキするんですね。貼り出された番号を探すのも、メールを待つのも同じ。自分の頑張った結果が届くとうれしいですね。」

茨城県 東茨城郡 飯田晋さま



特撰

編集後記

よりお客様とフクナガの距離が縮まるように、今年度よりリニューアルしたフェコニュース。いかがでしたか? 今年度は、みなさんに手に取って読んでもらえるようなテーマを毎月選んで取り上げます。今回は、震災復興というテーマを取り上げました。一步一步、復興に向かっている東北にフクナガもお役立ちできたらと考えております。皆様の感想・こんなテーマ取り上げてほしい! など何でもご意見・ご要望をお待ちしております。



渡邊 花 (わたなべ あや)

※省エネ・省資源にともない、私たちはフェコニュースをPDF版にて配布しております。ご賛同いただける方は、アンケート用紙にメールアドレスをご記入ください。次回よりメールでお送りいたします。ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



発行元: 株式会社フクナガエンジニアリング
 〒536-0014 大阪府大阪市城東区鳴野西5-13-30
 tel: 06-6969-7657
 fax: 06-6969-3633
 e-mail: feconews@ecosoft.co.jp
 URL: <http://www.ecosoft.co.jp>

